

進路指導部だより

令和8年10月16日 No. 3
東京都立村山特別支援学校
校長 阿部 智子
主幹教諭 屋代 里奈

今号では、夏季休業中に行った進路研修会と、高等部実習報告会（前期）について御紹介します。

夏季進路研修会～キャリア・パスポートの活用

8月5日（水）に、国立特別支援教育総合研究所・ウェルビーイングS&Iセンター統括研究員の小澤至賢様を講師としてお招きし、本校教職員、保護者、地域の教職員を対象とした進路研修会を行いました。

前半は、「障害のある児童・生徒の意思決定を支えるキャリア教育の充実について」をテーマに、令和6年度から2か年に及ぶ研究成果を基に、小澤様から御講義いただきました。児童・生徒一人一人の「できないこと」ではなく、「できること」や「強み」に目を向け、その可能性を伸ばしていくことの大切さについて学びました。また、進路選択や将来の生活を考える際には、児童・生徒自身の思いや希望を大切にしながら意思決定を支援することが重要であり、言葉で気持ちを伝えることが難しい場合でも、表情や視線、行動の様子、写真やイラストなどを活用しながら、本人の思いを丁寧に確認していくことが大切であることを学びました。



後半は「特別支援学校におけるキャリア・パスポートを活用した指導・支援にかかる障害特性への工夫について」をテーマに、本校で今年度から導入した「むらやまキャリア・パスポート」のこれまでの取組内容について、各学部から事例報告を行い、小澤様から助言をいただきました。「むらやまキャリア・パスポート」では「好きなこと」「得意なこと」「頑張りたいこと」を考えたり、学校生活や学習、行事での経験を振り返ったりする活動を通して、自分自身への理解を深め、将来について考える学習を行っています。作成の際には写真やイラストを活用するなど、児童・生徒一人一人の実態に合わせた方法で記録や振り返りを行っています。小澤様には、本校のこれまでの実践についての評価とともに、今後も継続して取り組むことの意義についても御助言いただきました。今後は、学部を越えて継続的に活用するとともに、保護者の皆様と成長や課題を共有しながら、児童・生徒の将来に向けたキャリア形成を支援してまいります。3学期の個人面談では、「むらやまキャリア・パスポート」を御覧いただき、御家庭からのコメント等もお願いする予定ですので、御理解と御協力をお願いいたします。

高等部実習報告会（前期）

9月7日（月）に、高等部実習報告会（前期）を実施しました。報告会には、高等部の生徒全員と中学部B・Cグループの生徒が参加し、高等部3年生が1学期の現場実習で学んだことや今後の課題について発表しました。発表した生徒たちは、発表原稿の作成や発表練習など事前学習の成果を発揮し、大勢の前で堂々と発表することができました。発表を聞いた生徒も、現場実習について具体的な質問をするなど、関心をもち、主体的に報告会へ参加する姿が見られました。

実習報告会は、現場実習の経験を振り返り、自分に合った進路先や卒業後の生活について考える大切な学習の機会です。また、発表を聞く生徒にとっては、高等部における現場実習への理解を深め、自身の進路や今後の実習に向けた目標を考える機会にもなっています。本校では年2回実施しており、次回の実習報告会（後期）は2月15日（月）を予定しています。主に、高等部2年生による現場実習の報告を行う予定です。

今後も進路指導部では、現場実習や実習報告会を通して、生徒一人一人が自分に合った進路や将来の生活について考え、主体的に進路選択ができるよう支援してまいります。

